

弥生時代中期の竪穴住居跡
野田山遺跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	のだやまいせき
所在地	新見市哲多町成松
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	弥生時代中期の竪穴住居跡。直径7.5mの円形の住居跡で柱穴跡6個と中央の炉が検出された。各地域に弥生集落が展開していく状況を示す遺跡である。隣接して古代タタラ跡もある。
アクセス方法	JR石蟹駅から約7.5km
公開状況	自由
設備	
備考	竪穴住居は現在、復元されている。発見された石器及び土器は隣接の哲多小学校に保管されている。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	野田山遺跡
よみかた	のだやまいせき
しょざいち (所在地)	新見市哲多町成松
していたひ (指定した日)	昭和32年5月13日
せつめい	弥生時代(やよいじだい)中ごろの竪穴住居(たてあなじゅうきよ)の跡(あと)です。現在(げんざい)、竪穴住居は復元(ふくげん)されています。すぐとなりには古代(こだい)に鉄(てつ)を造(つく)っていたタタラの跡(あと)があります。